

クルーズサマリー

1. 航海番号/使用船舶：YK13-07/よこすか/うらしま
2. 航海名称:平成25年度「うらしま」種子島沖泥火山群の高解像度地形・地下構造探査
3. 首席研究者/所属機関：山本富士夫/海洋研究開発機構 海底資源研究プロジェクト
4. 課題提案者/所属機関：稲垣 史生/海洋研究開発機構 海底資源研究プロジェクト
5. 乗船研究者:

山本 富士夫	海洋研究開発機構 海底資源研究プロジェクト	サブリーダー
飯島 耕一	海洋研究開発機構 海底資源研究プロジェクト	技術主任
正木 裕香	海洋研究開発機構 海底資源研究プロジェクト	研究技術専任スタッフ

6. 調査海域：種子島沖
7. 航海期間：2013年8月10日(清水沖)～8月19日(横須賀港)
8. 調査航海概要

実施内容:

YK13-07 「うらしま」調査航海は、平成25年8月10日清水港沖を出港し、同月19日、横須賀港に入港して終了した。本航海の航跡図及び実施項目・内容を以下に記す。

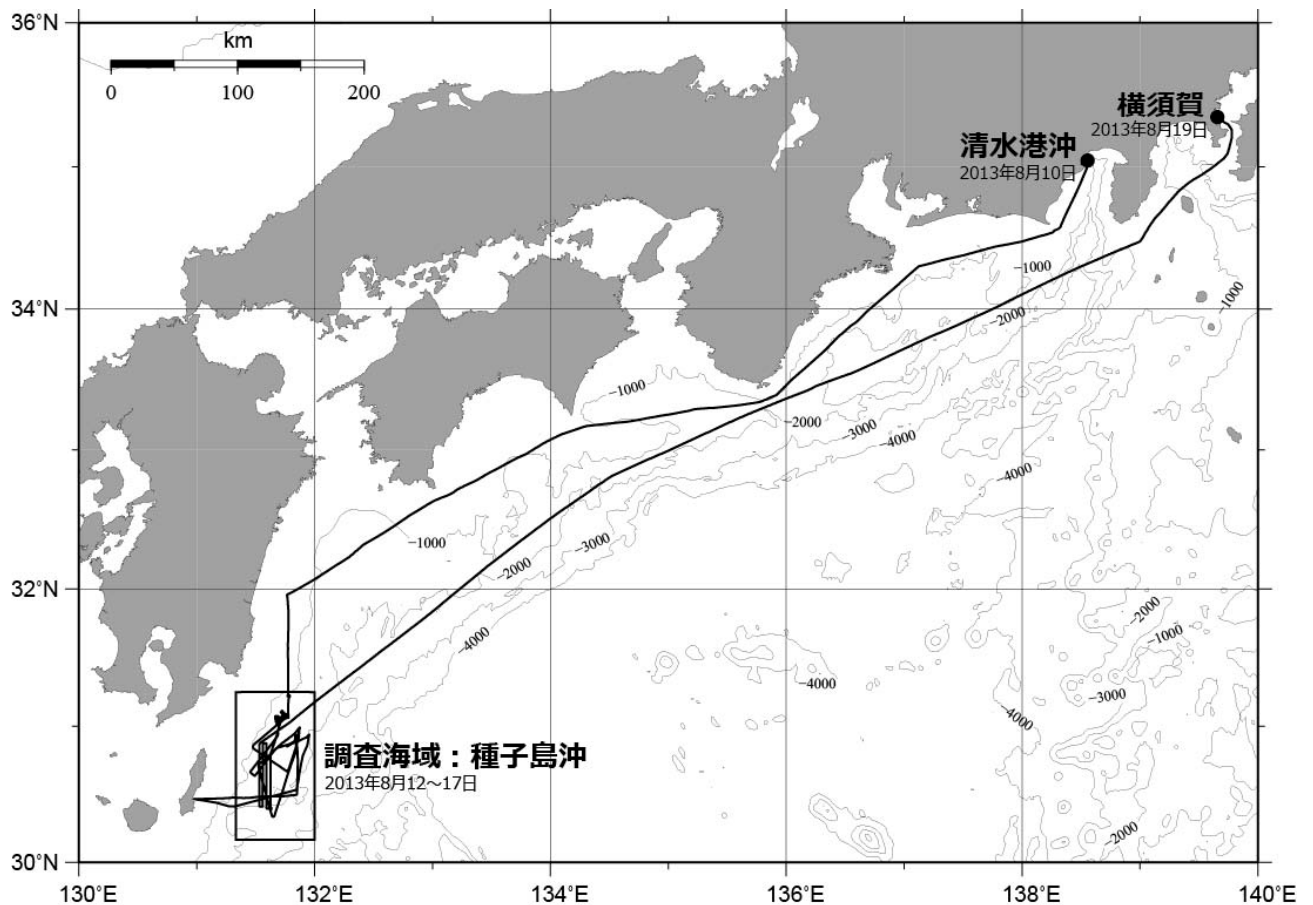


図. YK13-07 航跡図

(1) 「うらしま」による調査

①マルチビーム音響測深による微細地形探査、サイドスキャンソナーによる音響イメージング調査、サブボトムプロファイラーによる海底下浅部構造探査

②航行型シングルチャンネル地震探査

「うらしま」機体内にハイドロフォンを搭載した航行型シングルチャンネルによる地下構造探査(震源は「よこすか」船尾から曳航のエアガン発振、シングルチャンネル・ストリーマーケーブル(船尾からの長さ200m)を曳航)

③「うらしま」に搭載した磁力計による物理データの取得

(2) 「よこすか」による調査

①広域海底地形調査

②シングルチャンネル反射法地震探査(Single Channel Seismic)による地下構造探査

謝辞:本研究調査航海の遂行にあたっては、「よこすか」の田中船長、増島一等航海士をはじめとする乗組員の皆様、「しんかい 6500」運航チームの卓抜なオペレーションが不可欠でした。航海準備段階からサポートしていただいたチームならびに運航管理部、海域調整に尽力いただいた方々に御礼申し上げます。